

ウフギー自然館

講演会 やんばるのウミガメたち



平成22年7月9日(金)に、やんばる自然体験活動協議会主催の講演会、「やんばるのウミガメたち」がウフギー自然館で開催され、国頭村、大宜味村をはじめ村外から59名が参加。毎年、4月下旬からやんばるの海岸に産卵のため上陸するウミガメを調査している日本ウミガメ協議会の会員、米須邦雄・嘉陽宗幸両氏に大宜味村、国頭村の産卵状況や産卵場所の環境についてお話しをしていただきました。やんばるには、アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの3種が上陸しており、自然環境の悪化によるさまざまな障害がウミガメたちを待ち受けているという話を聞くことができました。講演会には地元の北国小学校や奥小学校の子どもたちも参加、お二人の話を熱心に聞いていました。



米須邦雄氏のプロフィール

大宜味村塩屋出身。日本ウミガメ協議会会員・大宜味村役場職員。ウミガメの調査を始めて12年。根路銘海岸に産卵にきた「ウミガメの卵が盗掘された」との連絡をうけたのが保護活動に関わるきっかけでした。



嘉陽宗幸氏のプロフィール

国頭村桃原出身。日本ウミガメ協議会会員・国頭村役場職員。ウミガメの調査を始めて9年。「地元桃原の海岸に上陸したウミガメの足跡を初めてみた！」のが保護活動に関わるきっかけになったとのこと。